



MOBILE SUIT
AMX-004-2

QUBELEY Mk-II

NEO ZEON
PROTOTYPE MOBILE SUIT
FOR NEWTYPE



ネオ・ジオン軍 ニュータイプ専用
モビルスーツ AMX-004-2
「キューベレイMk-II
(エルピー・ブル専用機)」
1/100スケール マスターグレードモデル

AMX-004-2 QUBELEY Mk-II

NEO ZEON PROTOTYPE MOBILE SUIT FOR NEWTYPE



ネオ・ジオン軍
ニュータイプ専用モビルスーツ
AMX-004-2「キューベレイMk-II (エルピー・ブル専用機)」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN

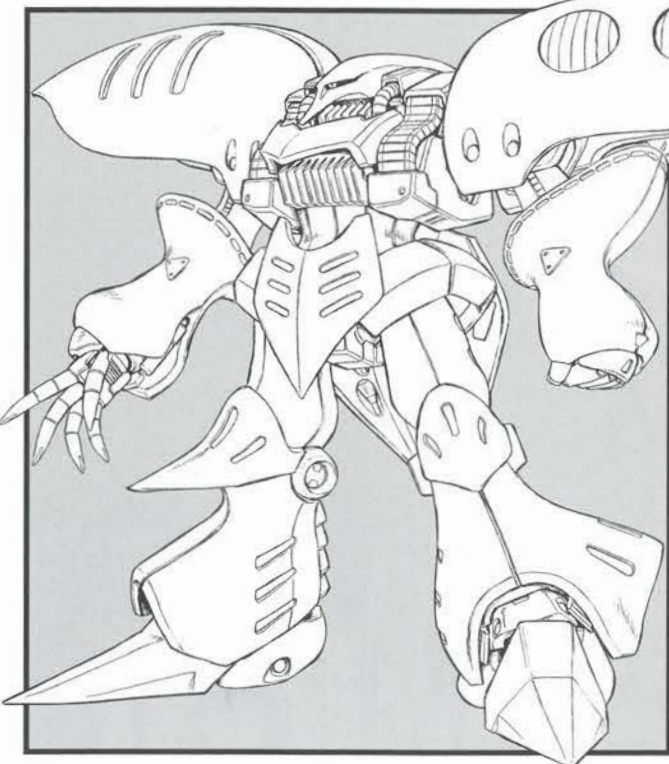
*写真の完成品は、一部塗装してあります。

0161398

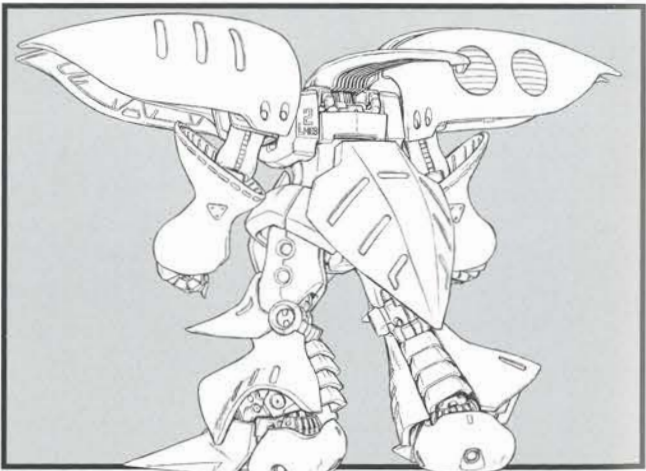


AMX-004-2 QUBELEY Mk-II

キューベレイMk-IIは、キューベレイの量産化を企図して開発されたMSである。キューベレイは、一年戦争時のNT（ニュータイプ）専用MA（モビルアーマー）「エルメス」の発展型として開発されたMS（モビルスーツ）であり、エルメスの後継機を意味する「L-MES 2」のコードネームが与えられていた。アクシズでは、NT能力の解析とサイコミュデバイスの小型高性能化が進み、エネルギーCAPシステムを採用した新型のビットは、その形状からファンネル（FUNNEL=漏斗）と呼ばれた。パイロットの負担も軽減され、より広範囲な領域でのオールレンジ攻撃も可能となった。「親機エルメスと子機ビットの連携」というフォーマットを継承したキューベレイは、U.C.0080年代後期においても最高水準のNT専用兵器である。と同時に、アクシズ=ネオ・ジオンのフラッグシップMSとなった。そのため、状況によっては事ある毎にハマーン自らが最前線に赴くこととなった。すなわち、戦術的な要請によって、戦略を司る最高指導者を実戦投入しなければならないのだ。これは政治空白そのものである。この問題は以前より指摘されており、アクシズの統治形態そのものが、強力な機体のみならず、ハマーンと同程度のNT能力を持つパイロットを必要としていたのである。その「器」のひとつとされたのがキューベレイMk-IIである。

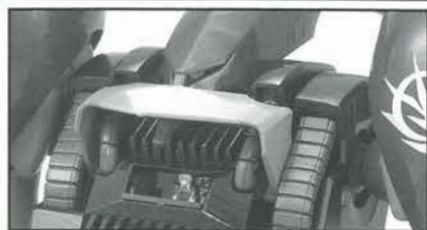


本機は、キューベレイの整備用部品などを流用し、当初は予備機としての運用も視野に、生産性の向上や量産化のための改造およびアップデートが施されている。キューベレイMk-IIの1号機（エルビー・ブル用の黒い機体。実質的なキューベレイ2号機）は、ブルのNT能力を検証し、さらに向上させるため与えられた機体だと言われており、ビーム・ガン/サーベルユニットの換装とコクピットユニットの改装が施されている。続いて実戦投入されたキューベレイMk-II 2号機（ブルツ用赤い機体。実質的なキューベレイ3号機）には、機体そのものの遠隔操作を可能とするデバイスが増設されているなど、更に強力な機体を開発するためのテストベッドとしても運用されていた。またこの時期、遺伝子工学や生化学的処置およびマインドコントロールなどを施された「人工的NT」とされる「強化人間」がMSパイロットとして多数投入されていた。そのジャンルにおけるネオ・ジオンの手法は極めてドラスティックであつたらしく、コア3を巡る「ハマーン戦争」の最終局面において投入された「量産型キューベレイ」を駆るパイロットは、すべて「ブルタイプ」であつたとする資料も存在する。

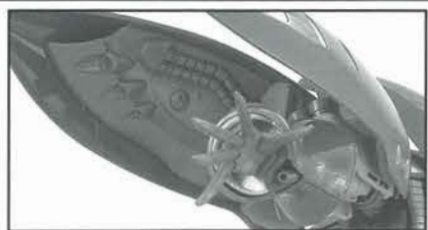


Conceptual illustration : Katoki Hajime

MECHANISM



HEAD and BODY UNIT キューベレイの頭部が独自の構造を持つのは、MSの頭部としての機能に加え、サイコ・ウェーブの送受信端末が内装されているためである。加えて、頭部ユニットそのものがスタビライザーとしても機能している。ボディユニットは、ハマーン用のオリジナルキューベレイとほぼ同等のデバイスで構成されているが、パイロットの体型にあわせてシートのサイズやレバー、ペダルなどの配置が細部にわたって変更されていることは言うまでもない。



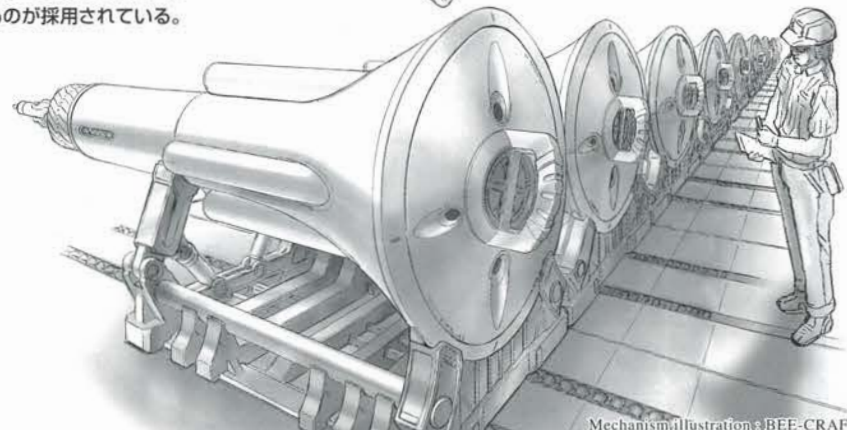
SHOULDER BINDER キューベレイの機動性のほとんどは、左右の肩に1対ずつ装備するフレキシブルスラスタラインダーに内装された計12基のスラスタによって行われている。このラインダーは、同時期のMSが装備する各種のAMBAC装備と比較しても非常に優れており、4基すべてが独立したシールドとしても機能する。さらに、コロニー内など、大気が存在する領域においても有効で、空力装備としても非常に洗練された機能と意匠を体現している部位でもある。



LEG UNIT キューベレイの脚部は、それ自身が上半身とは独立した内部構造を保っており、エネルギー系統も基本的に独立している。専用のプロペラントとコ・ジェネレーターを装備しており、上半身のエネルギーゲインをすべて消費したとしても、下半身のみでほぼ同等のポテンシャルを持つ。いわば下半身そのものが巨大なリザーブタンクであり、ある種のフェイルセーフを構成している。実際の上・下半身の各推力は、当時の標準的なMS数機分に相当する。

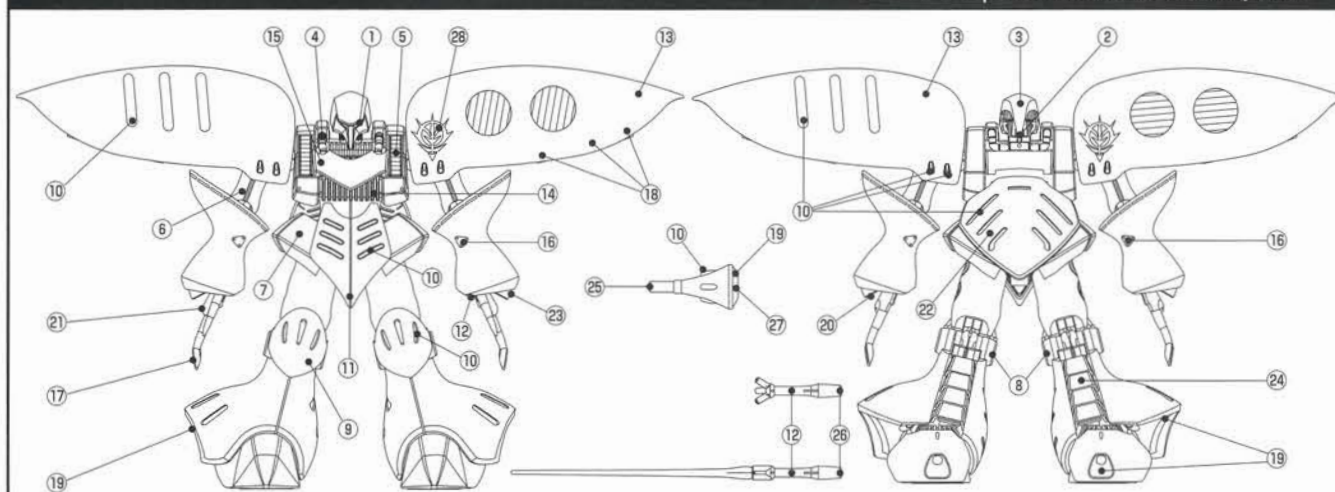
WEAPON

ファンネルはビーム・ガンを装備する小型のビット（B.I.T.=Battle Interactive Terminal~戦闘用双方向端末）兵器であり、ミノフスキー粒子が散布された空間において、遠隔誘導と索敵および攻撃を可能とするサイコミュデバイスである。「エルメス」のビットは、本体の稼働とビーム砲のためにジェネレーターを内蔵していたが、ファンネルはエネルギーCAPシステムの採用によって大幅な小型軽量化を達成しており、相対的にビットをはるかに上回る高機動性を獲得することとなった。それに加えて生産性も向上しており、費用対効果が飛躍的に改善されたため、兵器としての運用や調達がより容易になっている。ただし、長時間の独立稼働が不可能であるため、回収およびエネルギーの再充填が必要となる。その機能を持つのがリアスカートアーマーと一体化されたファンネルコンテナである。このコンテナは、キューベレイの主武装であるファンネルを収納するのみならず、エネルギーおよびプロペラントの再充填に加え、諸機能を検証する機能を持っている。また、実質的な2号機であるキューベレイMk-IIが装備する近接戦闘用の新撃兵器であるビーム・ガン/サーベルユニットは、ハマーン用のオリジナルキューベレイと異なり、ビームエミッターを3基備えたものが採用されている。



Mechanism illustration : BEE-CRAFT

Parts and spec AMX-004-2 QubeleyMk-II



- | | | | |
|------------------------|---------------|-----------------------|-------------------|
| ①メインカメラ | ⑧ニージョイントアーマー | ⑮コクピットハッチ | ⑳リアアーマー/ファンネルコンテナ |
| ②リアセンサー | ⑨ニーアーマー | ⑯メンテナンスハッチ | ㉑ナローレンジサイトセンサー |
| ③サイコ・ウェーブセンサー/エミッターアレイ | ⑩サブセンサー | ⑰ディレクティブサイコ・ウェーブエミッター | ㉒カーフリングストラクチャー |
| ④パワーサブライケーブル | ⑪フロントスカートアーマー | ⑱メインスラスタ | ㉓マズル |
| ⑤サブシステムコネクターベルト | ⑫ビーム・ガン/サーベル | ⑲サブスラスタ | ㉔マルチビーム・エミッター |
| ⑥エルボージョイントアーマー | ⑬ショルダーバインダー | ⑳リストサポートユニット | ㉕ターミナルコネクター |
| ⑦サイドスカートアーマー | ⑭ヒートシンク | ㉑マニピュレーター | ㉖エンブレム |

注) この機体はキューベレイの予備の部材を流用して建造され、実質的な予備機として機能維持や改良などのテストベッドとして使用されていた。後に「特殊な手法で調達した強化人間の機能評定のため」に転用されることとなった。U.C.0088年4月12日に実戦投入され、8月1日にアーガマが鹵獲。改修の目処が立たぬまま10月31日に出撃、喪失している。

△ 注意

必ずお読みください

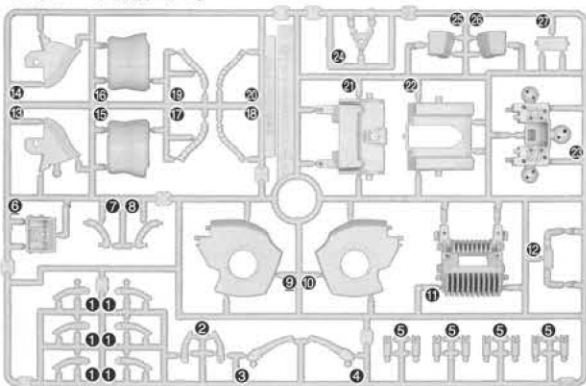
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

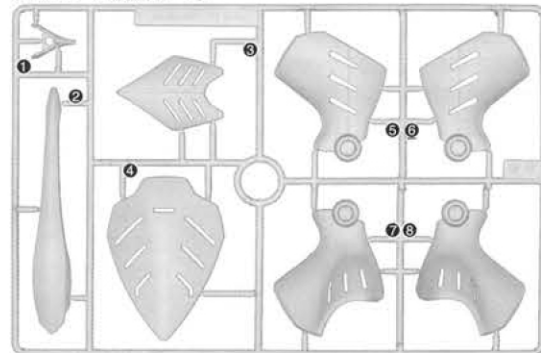
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

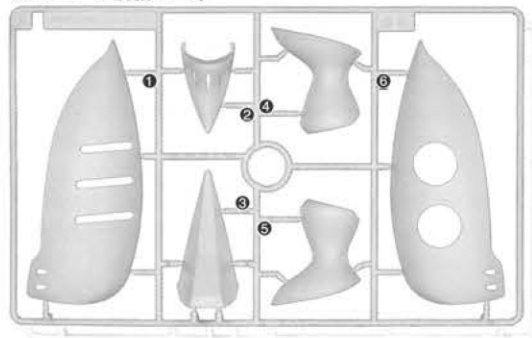
Aパーツ
(スチロール樹脂: PS)



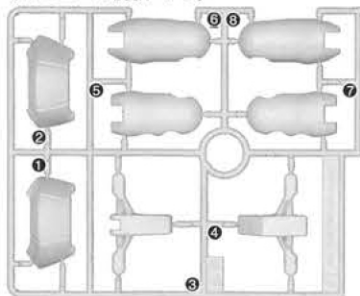
Bパーツ
(スチロール樹脂: PS)



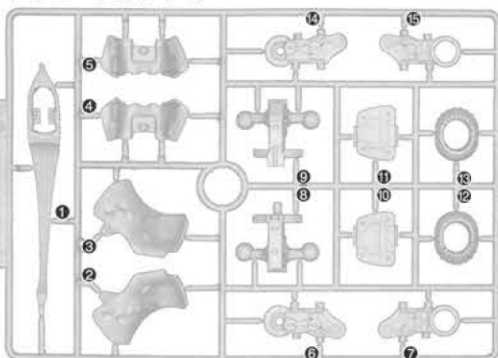
Cパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



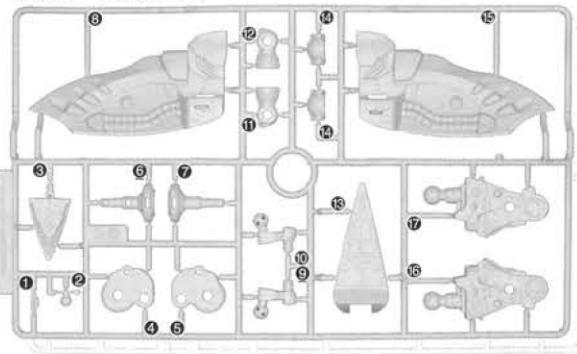
Dパーツ
(スチロール樹脂: PS)



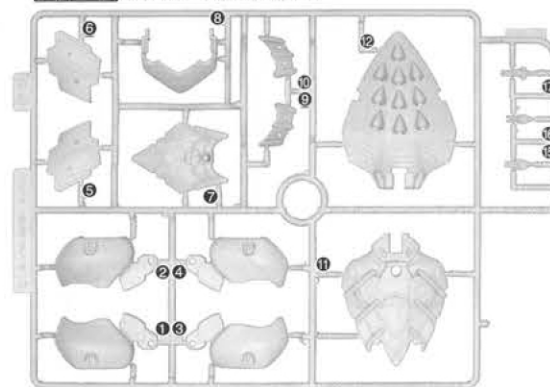
Eパーツ
(スチロール樹脂: PS)



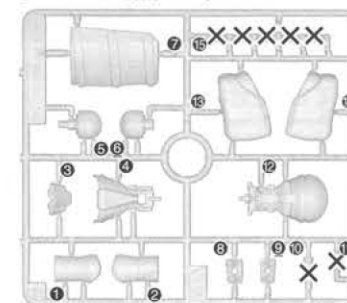
Fパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



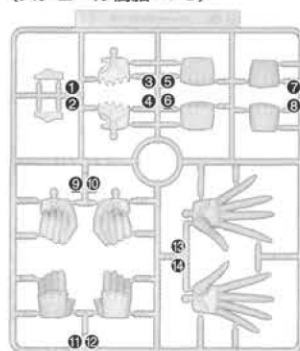
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



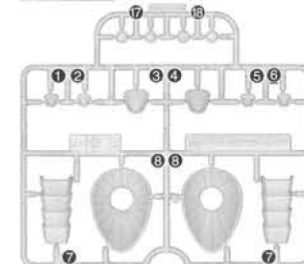
Hパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



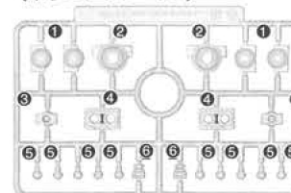
Iパーツ
(スチロール樹脂: PS)



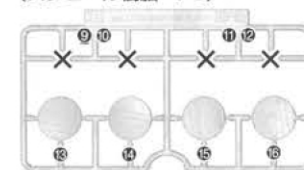
J1パーツ (スチロール樹脂: PS)



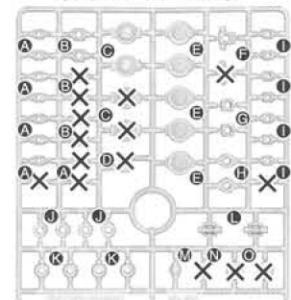
Kパーツ
(ポリエチレン: PE)



J2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



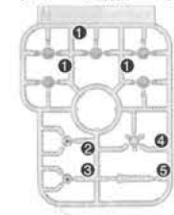
PC-121
(ポリエチレン: PE)



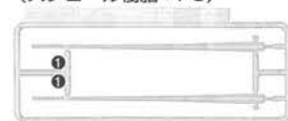
L2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



Nパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



M1パーツ
(スチロール樹脂: PS)

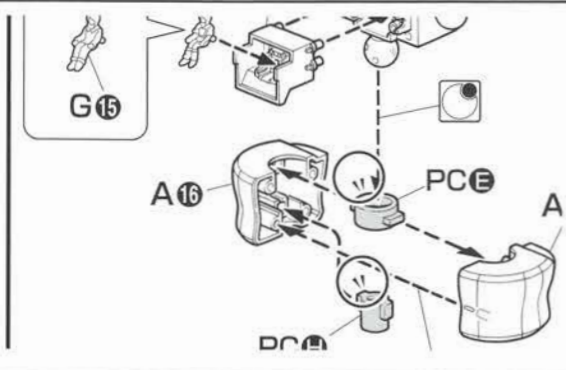


カラーシール………1枚
ガンダムデカール……1枚

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

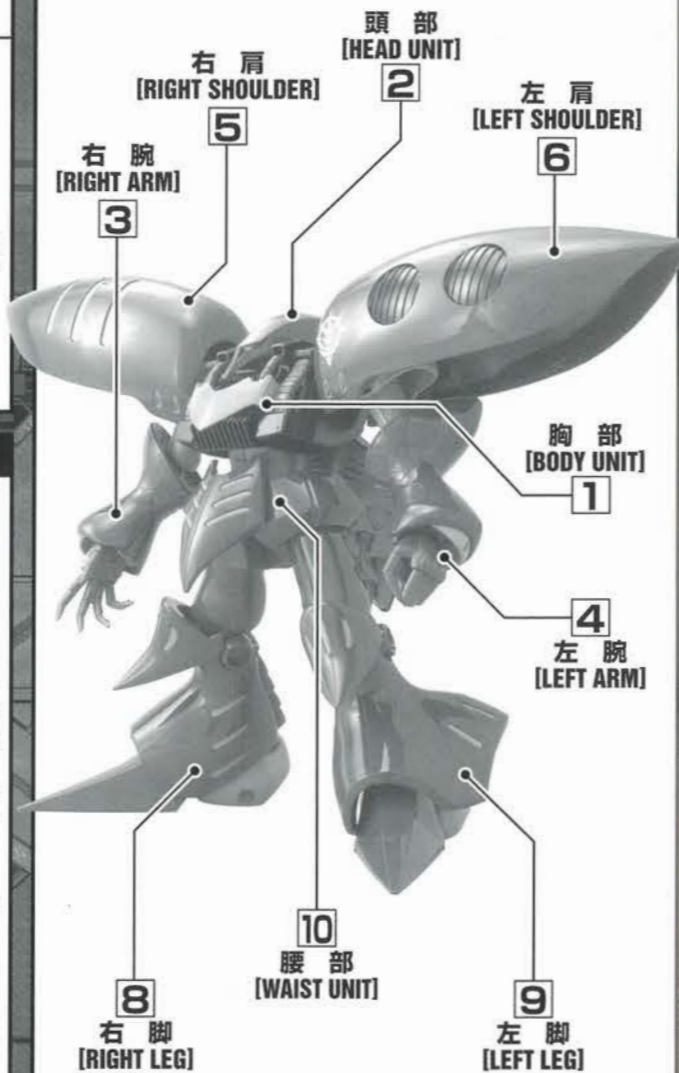
保護シート

②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、すれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

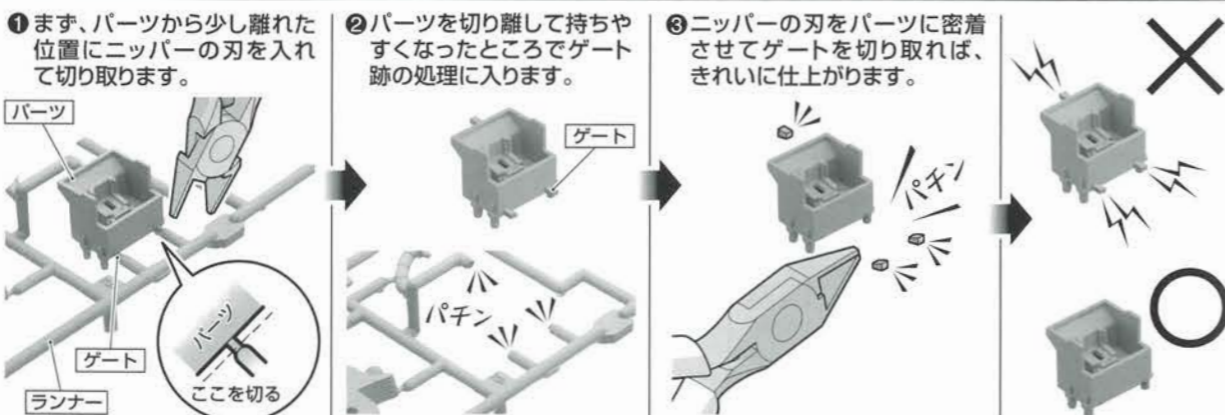
③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

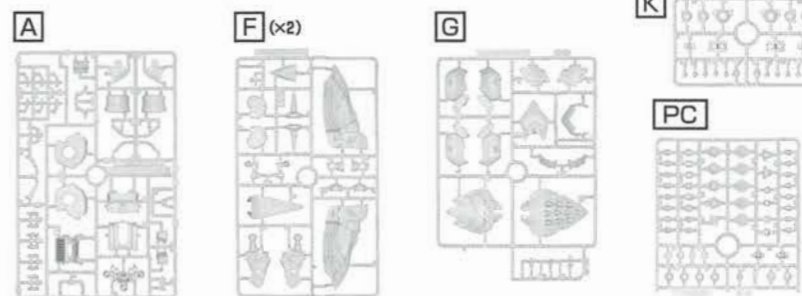


パーツの切り取りかた



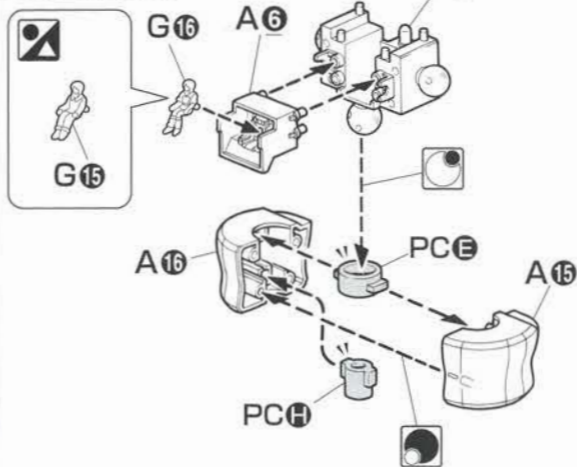
1 BODY UNIT

・組立1で使用するパーツ

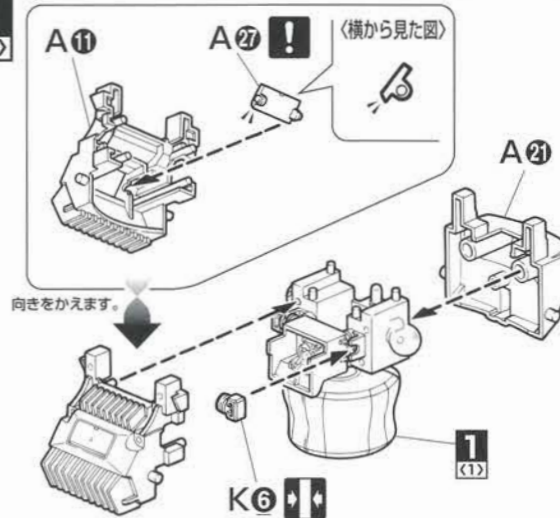


1 (胸部の組立)

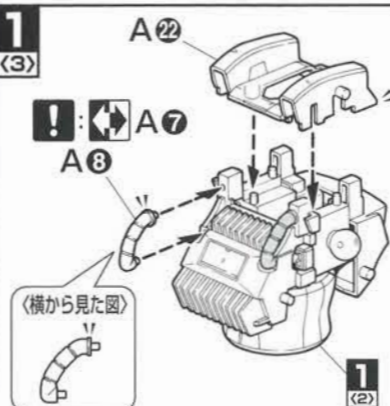
1 (1) BODY UNIT



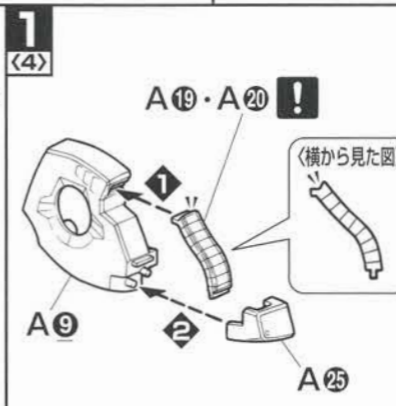
1 (2)



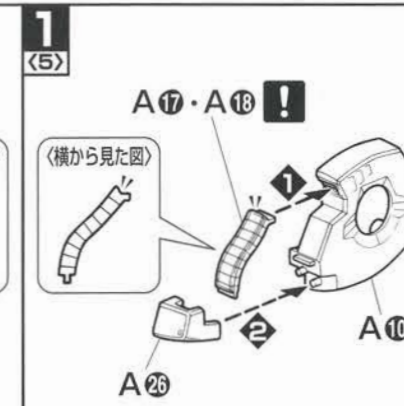
1 (3)



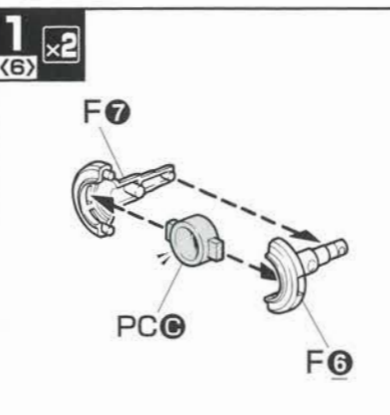
1 (4)



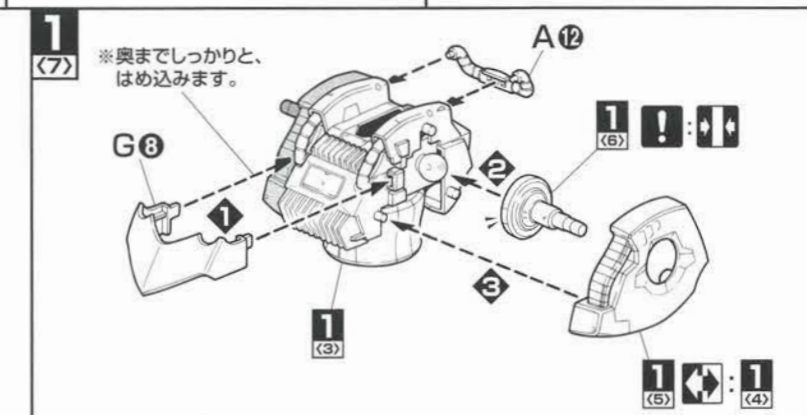
1 (5)



1 (6)

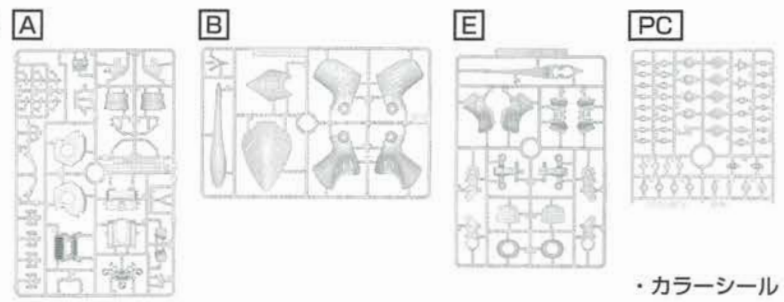


1 (7)

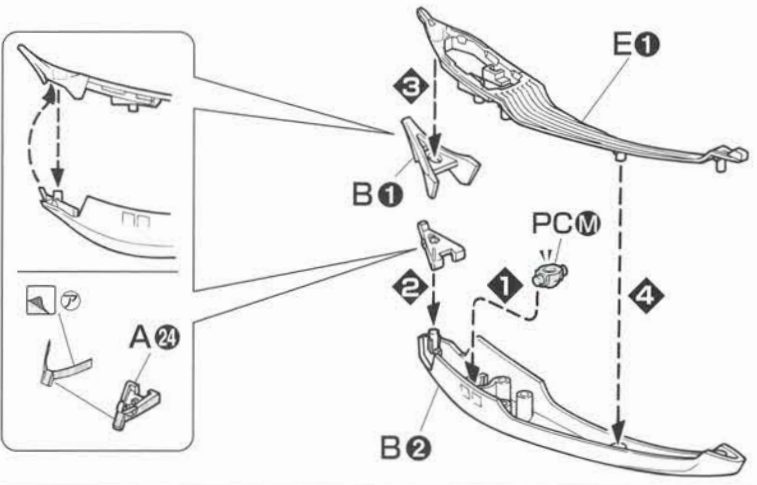


2 HEAD UNIT

・組立2で使用するパーツ

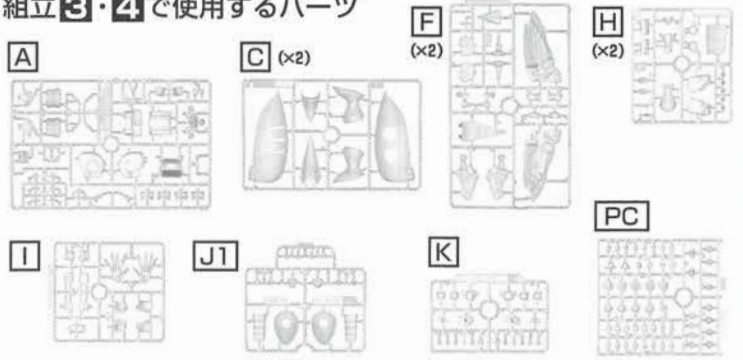


2 (頭部の組立) HEAD UNIT

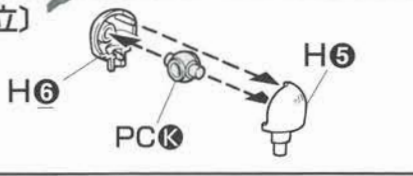


34 ARM UNIT

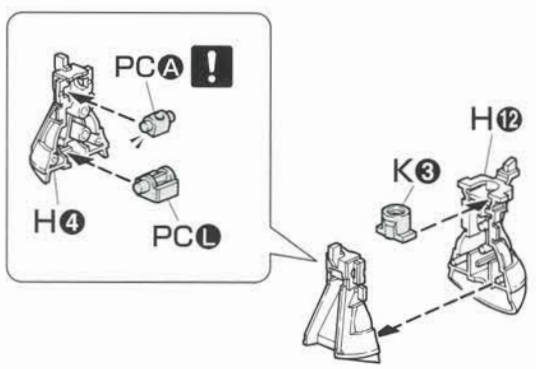
・組立3・4で使用するパーツ



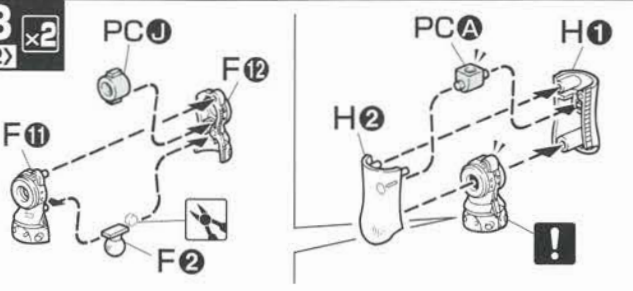
3 (腕部の組立) ARM UNIT



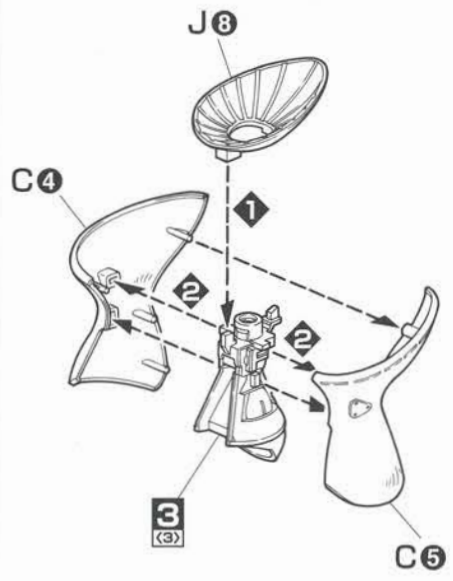
3 (3)



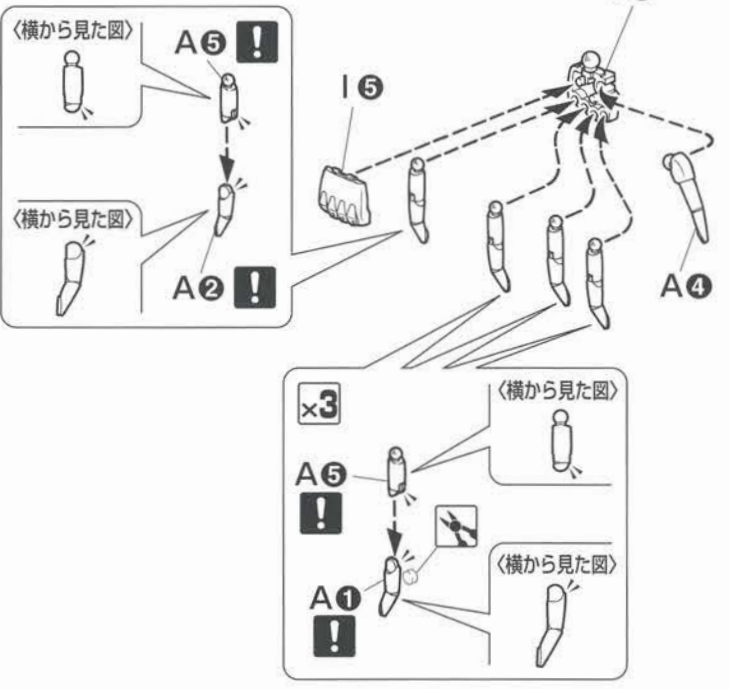
3 (2)



3 (4)



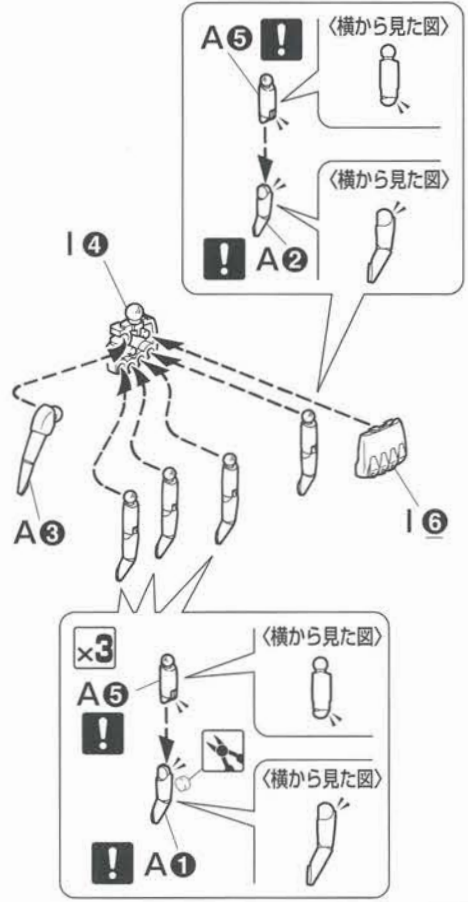
3 (5) [右腕の組立] RIGHT ARM UNIT



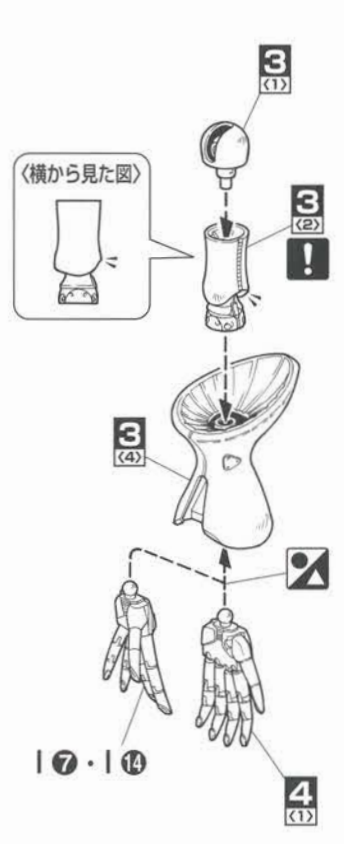
3 (6)



4 (1) [左腕の組立] LEFT ARM UNIT



4 (2)



BLACK QUBELEY

U.C.0088年4月。ラビアンローズでの補給と改修を終えたアーガマから、捕虜のキャラ・スーンがシンタを人質に取ってネオ・コア・ファイターを奪い、脱出を図る。ジュードたちはコア・トップ、コア・ベースで追撃するが、その宙域の鹿コロニーに潜伏していたゴットンMS部隊が現れ、援護のためエルとルーがガンダムMk-II、Zガンダムで出撃。事態は混戦へと陥る。ジュードが無理矢理ZZガンダムにドッキングすると、ゴットンの部隊は狙いをアーガマに変えて襲い掛かる。そこにダミー隕石の中からキュベレイMk-IIが現れ、ガンダムチームにオールレンジ攻撃を仕掛けてきた。「キュベレイだ。ハマーン・カーンの専用機!!」ファンネルに庄されるジュードたちを見かねたブライトの命令で、アーガマが新装備のハイ・メガ砲を鹿コロニーに向けて射出すると、黒いキュベレイは戦域から離脱して行った。その後、妹のリナを救出すべく、岩石のダミーを使ってアクシズに潜入したジュードは、アクシズの市街地で不思議な少女と出会う。「お兄ちゃん!!」やぶからぼうに抱きついてきた少女は、ジュードとは一度会ったことがあると言い張る。「私を捜してきたんでしょ? 私、エルピー・プル!!」やり取りのなかでリナの居場所に心当たりがあると叫び出したプルに連れられ、ジュードが辿り着いた先はハマーンの公邸であった。そこで偶然起きた騒動に乗じて逃げ出したジュードはネオ・コア・ファイターで脱出するが、その前にプルが乗る黒いキュベレイが出現し、「もっとジュードと遊ぶために追いかけてきた」のだと言う。ジュードは困惑するが……。



PLE TWO'S DESCENT

U.C.0088年10月。連邦政府に対する示威行動として、ハマーンはコロニー落としを敢行する。アーガマとガンダムチームは、コロニー・シリンダーが屹立するダブリンの地でラカンMS部隊と戦闘を繰り広げる。功を焦ったグレミーは、この混乱に乗じてアーガマを討つべく、切り札のブルツをコールドスリープから目覚めさせる。「フツ、ちょっと重いが、前に使っていたやつ感じか!」サイコ・ガンダムMk-IIを駆るブルツの気配を感じたプルは、瀕死の重傷を負っているにも関わらず、アーガマを守るため解体中のキュベレイMk-IIで出撃する。「気持ちが悪い、消えちゃえっ!!」「させない!!」相打ちになるファンネルとリフレクター・ビット。「なんであたしのすることが判るの?!」「それはこっちのセリフだ!!」そこにZZガンダムが現れ、キュベレイMk-IIを庇う。「ジュード……」「なんで出てきた!! 死ぬぞ、下がれ!!」しかしプルは退かず、サイコ・ガンダムMk-IIはMS形態へと姿を変える。その圧倒的な火力の前に苦戦を強いられるジュード。ラカンの戦いで消耗していたZZガンダムはエネルギー切れを起こし、絶体絶命の危機に陥る。「ジュード!!」そこにキュベレイMk-IIが割って入り、サイコ・ガンダムMk-IIのビーム砲からZZガンダムを庇いながらプルが叫ぶ。「ジュード、判ったよ、サイコ・ガンダムのパイロット!!」プルは敵のパイロットが、激しい所だけを受け継いだ自分自身だと喝破した。その言葉に動揺するブルツ。「わたしよ、死ぬっ!!」ジュードの眼前でキュベレイMk-IIを灼き尽くしたビームは次の瞬間、そのままサイコ・ガンダムMk-II目掛けてほとぼる!!

QUBELEY キュベレイ、MGに集結。



キュベレイ(別売り)

ハマーン・カーン専用の白いキュベレイと、ブルツ専用の赤いキュベレイを合わせ、鮮やかなカラーリングの3体のキュベレイをマスターグレードで再現。



別売りのキュベレイMk-II(ブルツ専用機)にはブルツの1/20フィギュアが付属。

※写真の完成品は、塗装してあります。 ※写真と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

GUNDAM DECAL (ORIGINAL MARKING)

ORIGINAL MARKING
オリジナルマーキング

以下のデカールは、オフィシャル設定にはないブルツをイメージしたオリジナルのマーキングです。MG「キュベレイMk-II(ブルツ専用機)」(別売り)に付属。

RIGHT SHOULDER (ORIGINAL MARKING)

© 創通・サンライズ

PAINTING

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

キュベレイMk-II (エルピー・プル専用機)

本体等ピンク部の塗装色。 ピンク(80%) + シャインレッド(20%) + パープル(10%) + ホワイト(10%)	本体等ブラック部の塗装色。 ブラック(100%)	ファンネル等パープルレッド部の塗装色。 ワインレッド(50%) + パープル(45%) + ピンク(5%)	モノアイ部の塗装色。 蛍光ピンク(100%)
フレーム等グレー部の塗装色。 RLM75グレー(80%) + ダークグレー(35%) + パープル(5%)	本体、サーベル等ブルーグレー部の塗装色。 ブルーグレー(50%) + インディブルー(40%) + パープル(10%) +	本体のダークブルーは色を塗らなくても光沢のある仕上がりになりますが、塗装をする場合は以下の指示を参考にしてください。本体等ブルー部の塗装色。 ブルー(50%) + ミッドナイトブルー(30%) + パープル(10%) + ホワイト(10%)	

エルピー・プル

顔 肌色部の塗装色。 フレッシュ(90%) + ピンク(10%) + ホワイト(少量)	<私服> パーブル部の塗装色。 パーブル(70%) + ワインレッド(20%) + レッド(10%)	手袋 レッド部の塗装色。 シャインレッド(100%)	<パジャマ> ライトピンク部の塗装色。 ピンク(85%) + ホワイト(10%) + すみれ色(5%)
髪 オレンジ部の塗装色。 オレンジ(30%) + ホワイト(50%) + イエロー(20%)	ブラック部の塗装色。 ブラック(80%) + ココアブラウン(15%) + すみれ色(5%)	クツの塗装色。 パープル(70%) + ワインレッド(20%) + ダークグレー(10%)	袖等ピンク部の塗装色。 ピンク(75%) + ワインレッド(25%)
	ピンク部の塗装色。 ピンク(100%)		

■ワンポイントステップ
スミ入れしてみよう!!
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミゾの所に線を引くことで、模型が引き締まります。

[before]
[after]



GUNDAM DECAL (ORIGINAL MARKING)

ORIGINAL MARKING
オリジナルマーキング

以下のデカールは、オフィシャル設定にはないエルピー・プルをイメージしたオリジナルのマーキングです。お好みに応じてお貼りください。

RIGHT SHOULDER (ORIGINAL MARKING)

ELPEO PLE
エルピー・プル

本機パイロット、エルピー・プルが私服姿の1/20フィギュアでセット。ブルツと一緒にディスプレイしてみよう。

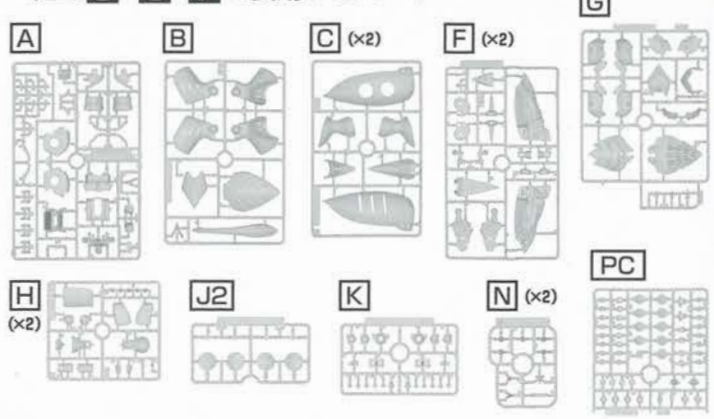
グレミー配下のニュータイプ戦士。キュベレイMk-IIに搭乗する。ジュードを奪い、アーガマの居場所を突き止めたジュードと生活し、たびたび仲間を救う。



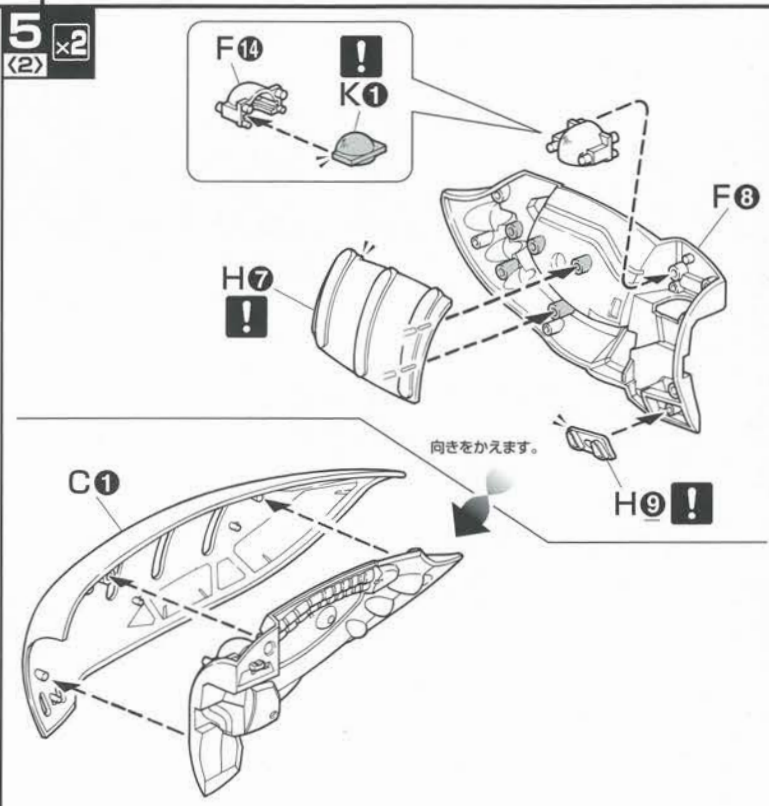
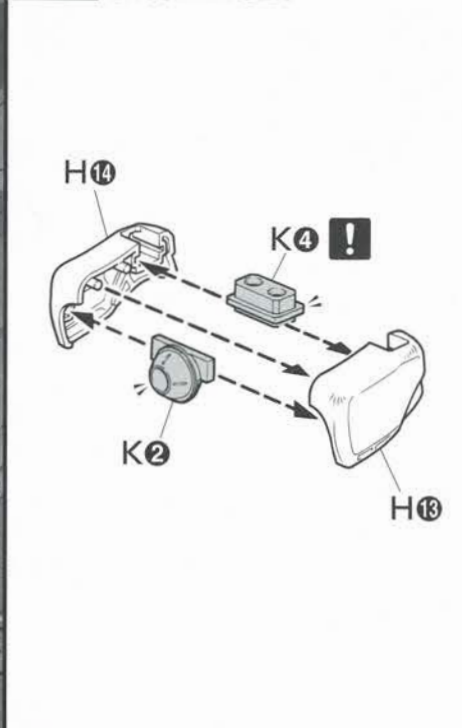
56 SHOULDER UNIT



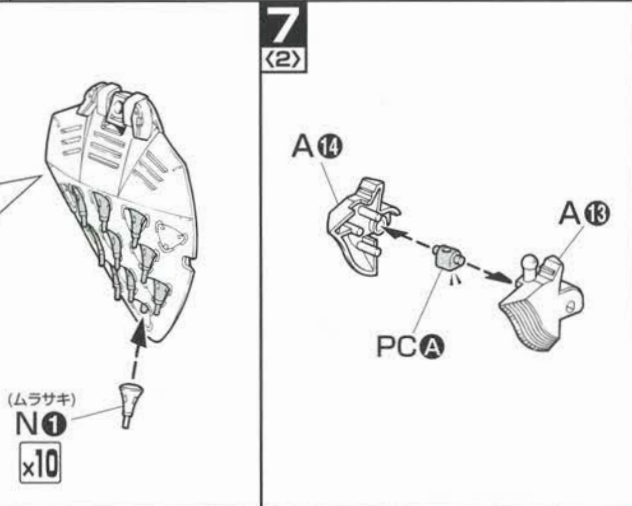
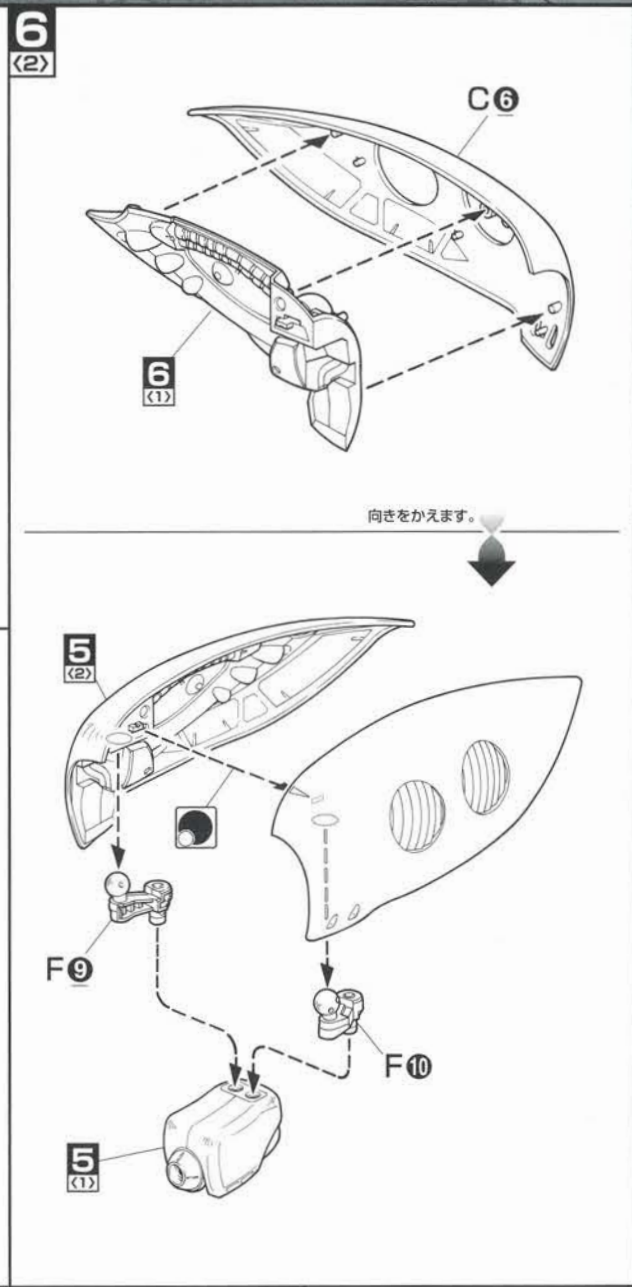
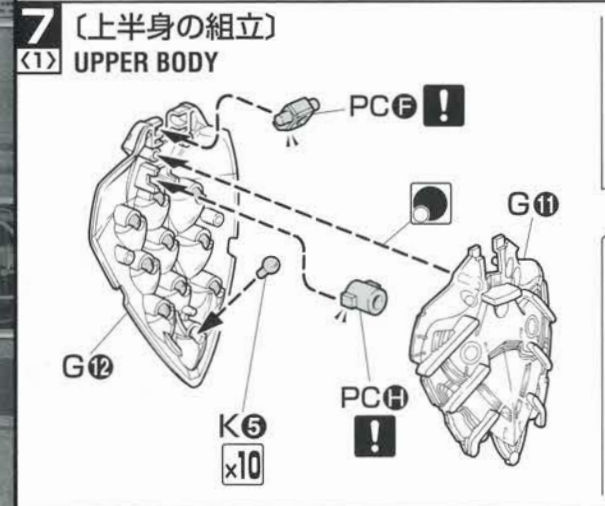
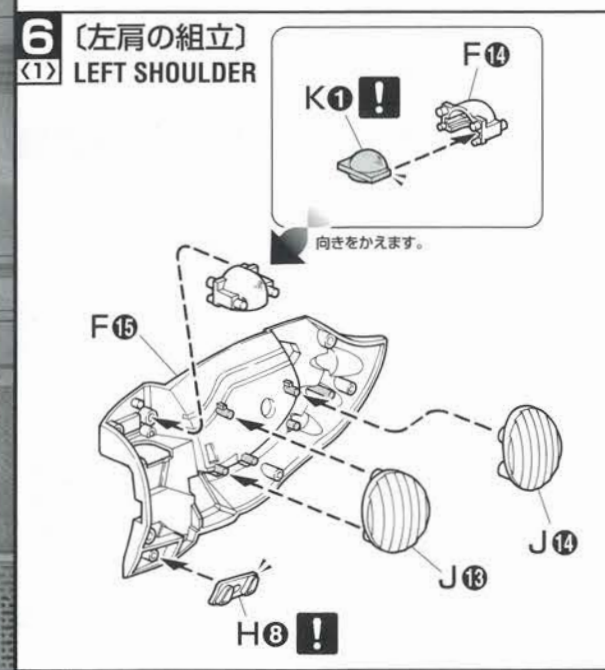
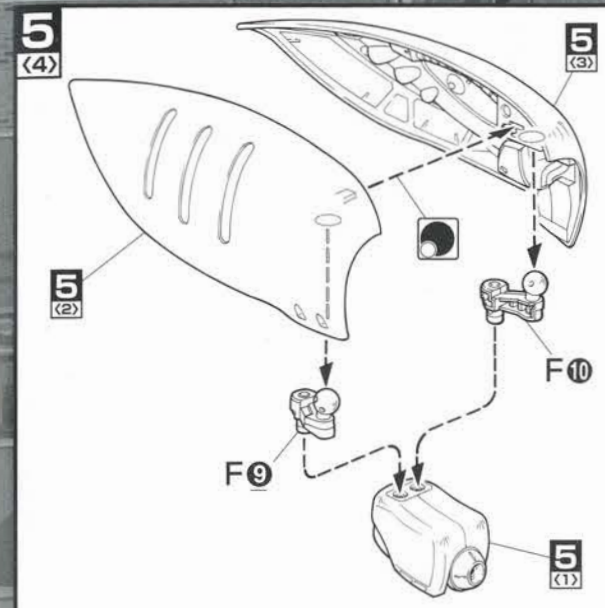
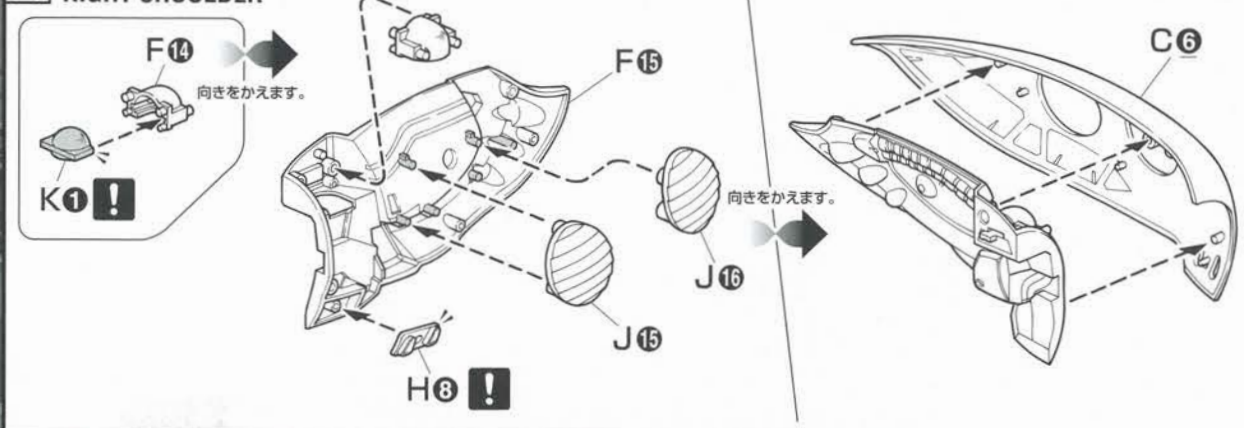
・組立5・6・7で使用するパーツ



5 (1) x2 (肩部の組立) SHOULDER UNIT



5 (3) (右肩の組立) RIGHT SHOULDER



7

2で作った頭部
 3で作った右腕
 4で作った左腕
 5で作った右肩
 6で作った左肩
 7(2)
 B4
 1で作った胸部



・組立8・9で使用するパーツ

B	C (x2)	D	E
F (x2)	G	J1	PC

8 (1) 脚部の組立 LEG UNIT

8 (x2)

向きをかえます。

PCJ, F4, F6, PCK, PC1

8 (2) 右脚の組立 RIGHT LEG UNIT

向きをかえます。

※平らな面

前 F16, F17, PCG, PC1

8 (1)の向きを変えたもの

8 (3)

向きをかえます。

〈横から見た図〉

(ブルー) J10 !

(ブルー) J17 !

前 D6, D5, J7

8 (4)

向きをかえます。

〈横から見た図〉

G1, PCE, G3, PC1, E11, PC8 !

8 (5)

向きをかえます。

〈横から見た図〉

E12, J5, J4, C3, F13

※きれいに切り取ります。

8 (6)

向きをかえます。

〈横から見た図〉

B8, G9, E2 !

8 (7)

向きをかえます。

〈前から見た図〉

G6, B6, F1, 8 (3), 8 (5)

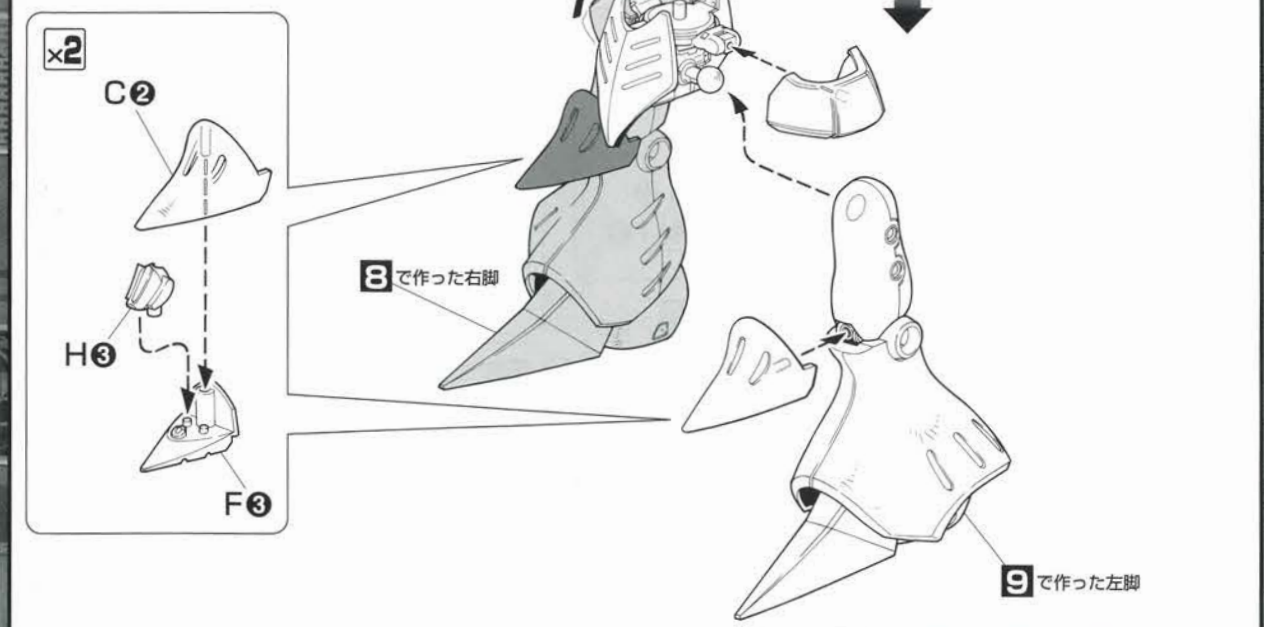
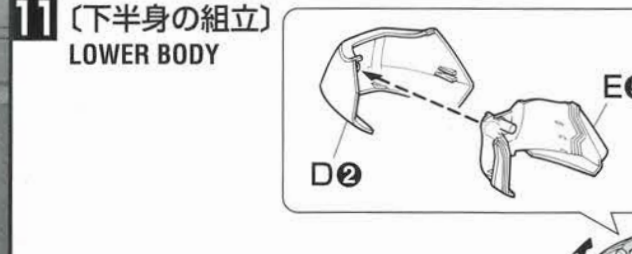
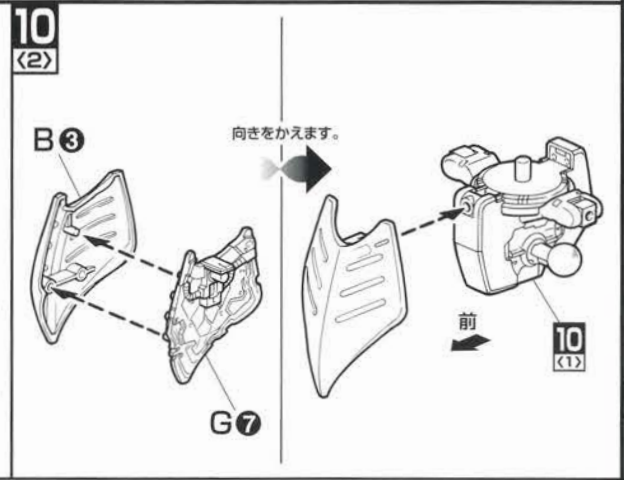
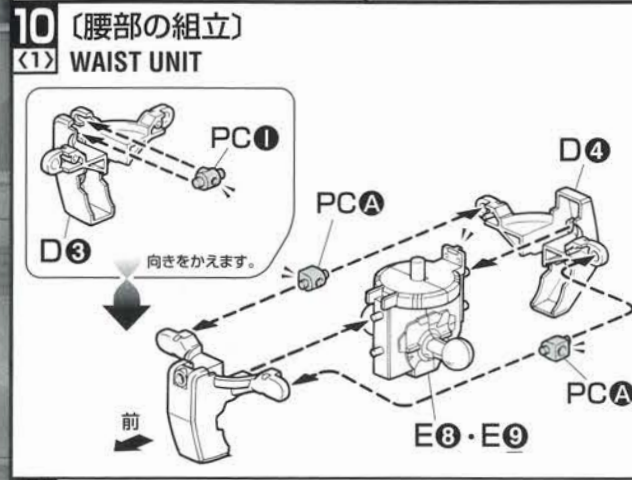
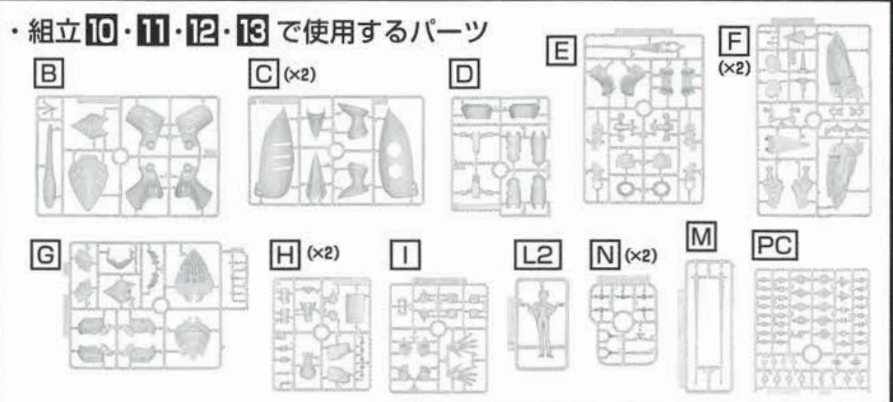
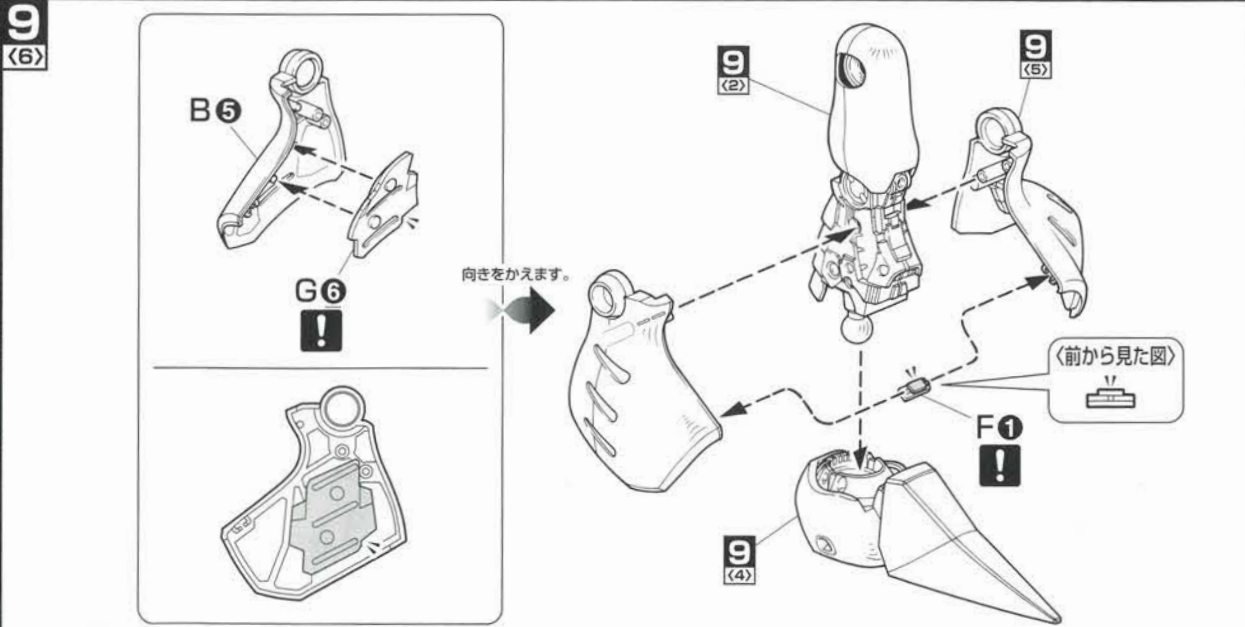
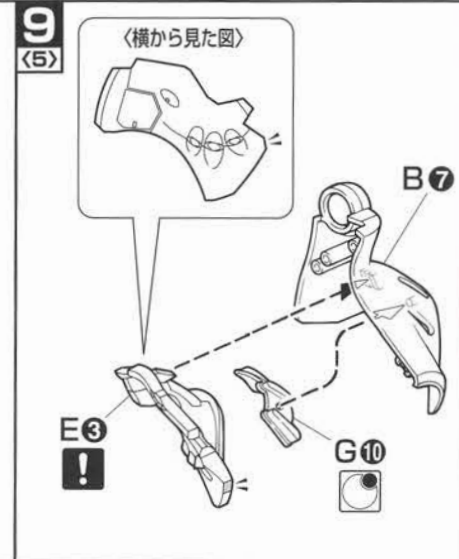
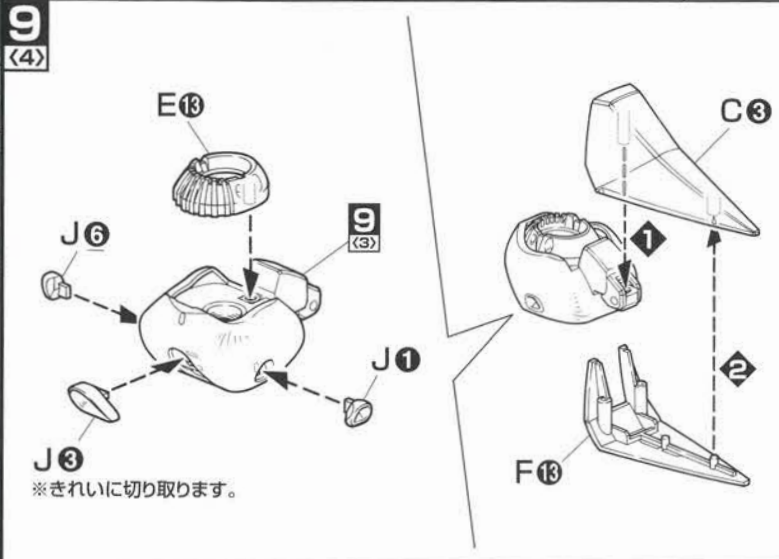
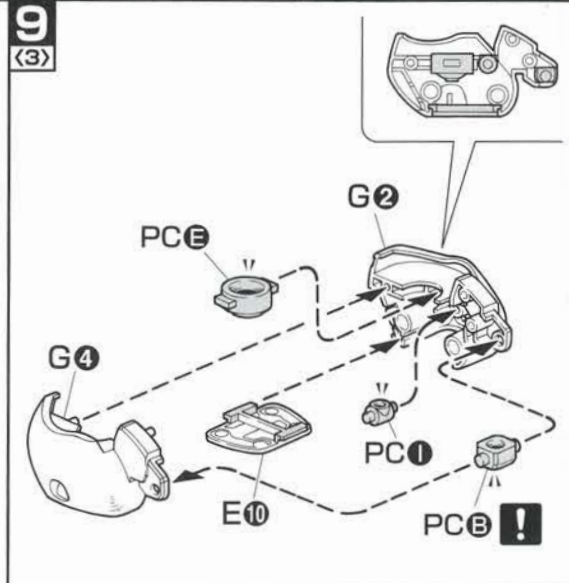
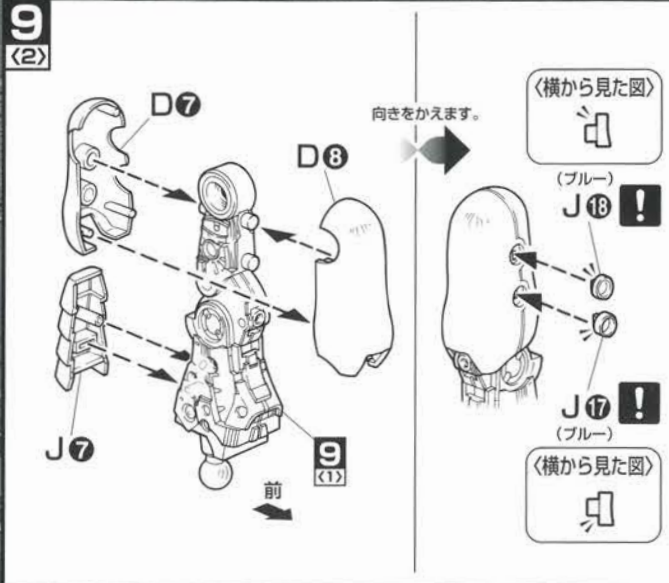
9 (1) 左脚の組立 LEFT LEG UNIT

向きをかえます。

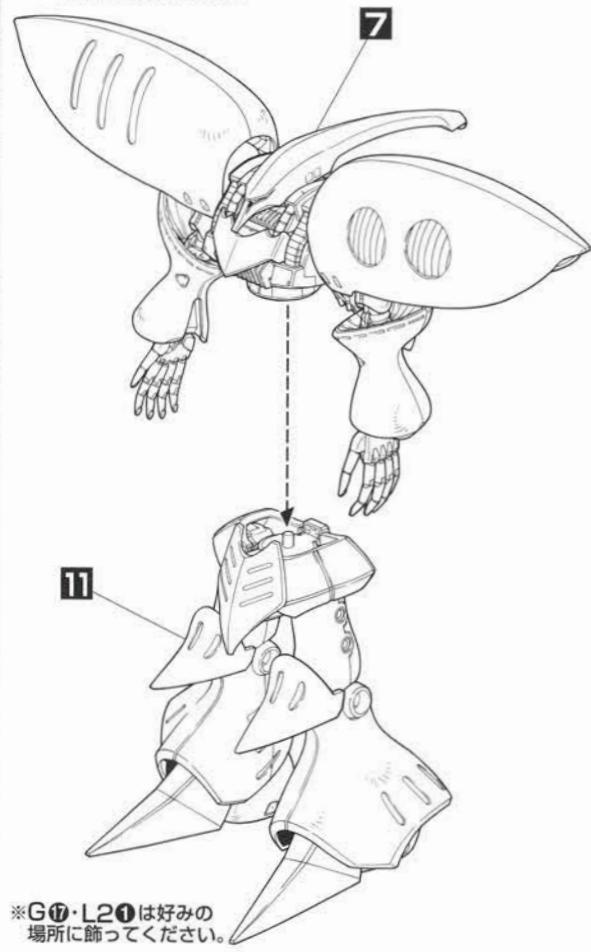
〈前から見た図〉

E14, PCE, E15, 8 (3), F16, F17, PCG, PC1

※平らな面



12 (完成) FINAL ASSEMBLE

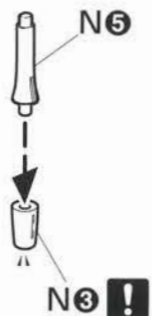


※G10・L20は好みの場所に飾ってください。

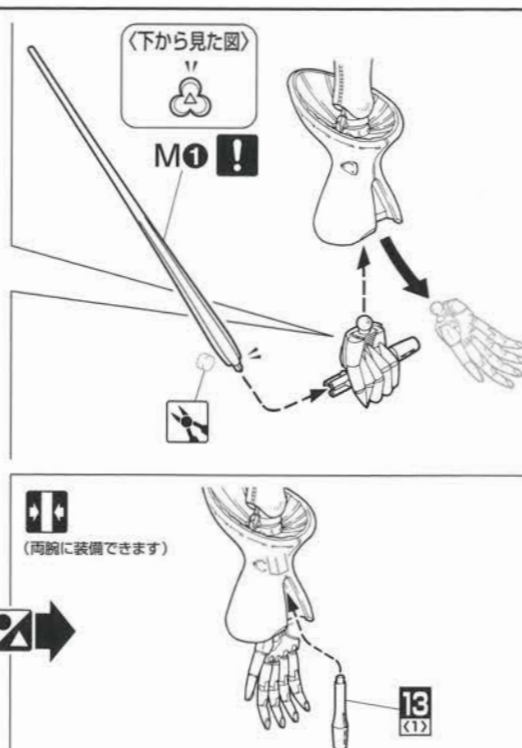
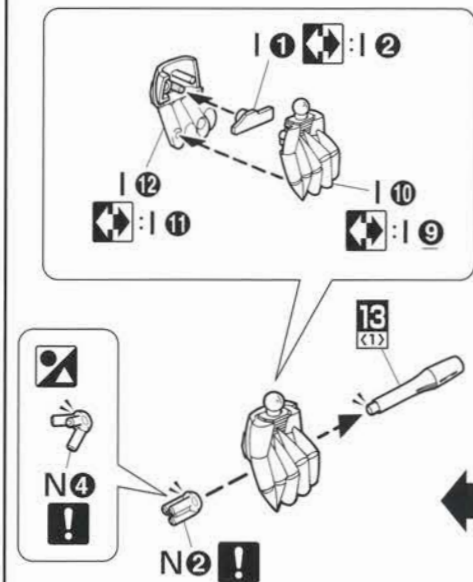


※バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)BA3-B10(股間止め用11mm幅)を使用してディスプレイできます。

13 (1) x2



13 (2)



Seal

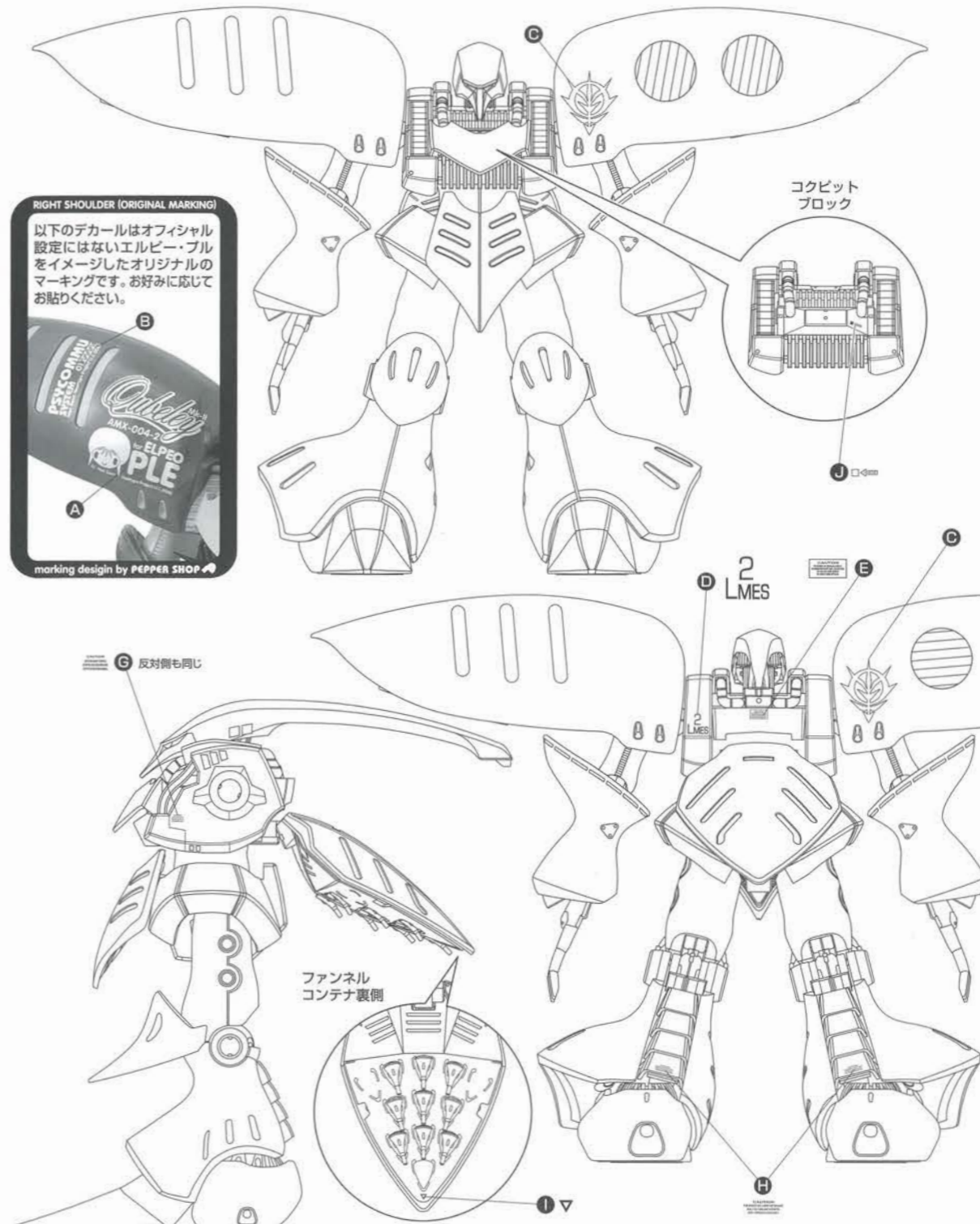
下の図を見て、ガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

ガンダムデカールは「英字の白文字」で表記してあります。

【例】A・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりつけます。



※余ったガンダムデカールは好きな所にはってください。